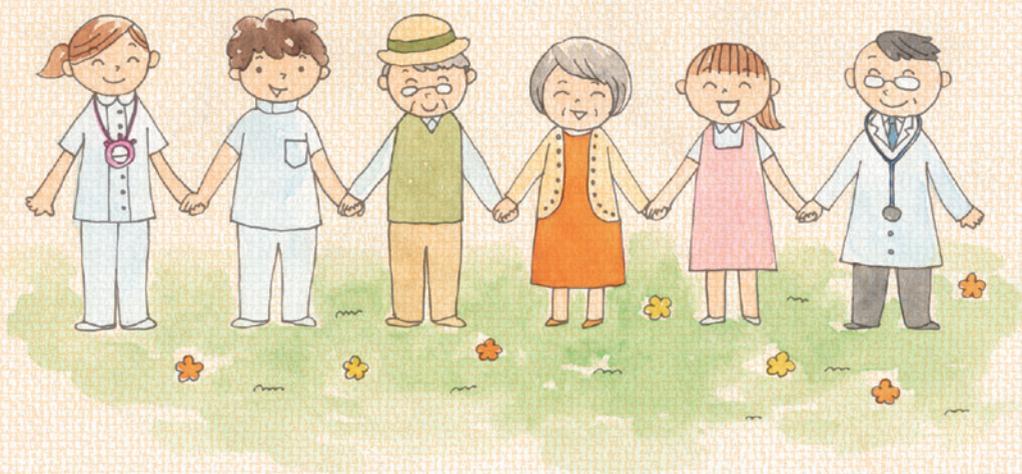




国立長寿医療研究センター病院を  
利用される皆様のための  
**ハンドブック**

—この病院での診療と研究について—



独立行政法人国立長寿医療研究センター  
National Center for Geriatrics and Gerontology

## 理事長から皆様へ

### ① 病院長から皆様へ

こんな役割と責任があります

研究への参加をお願いします

こんな研究を行っています

安全に研究を行います

### ② 患者さんの権利と約束事です

プライバシーを守り、個人情報を保護します

個人情報とは何でしょう

個人情報はこんなときに使います

### ③ 特別な検査についての取り扱いです

### ④ 研究成果は公表され、活用されます

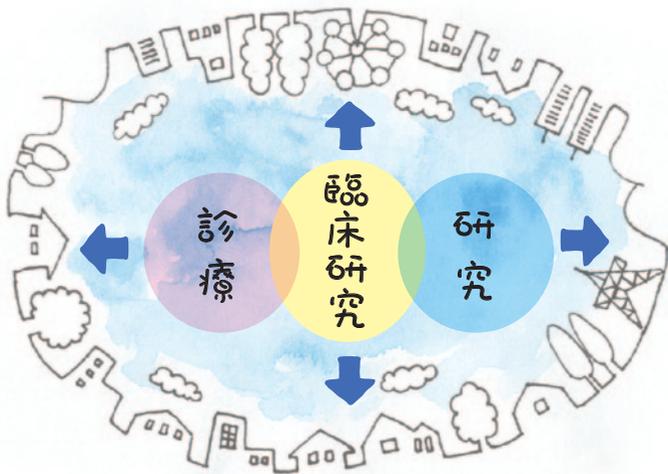
# 理事長から皆様へ

こんにちは。センター理事長の大島です。

我が国に6つあるナショナルセンターは2010年4月1日、国立から独立行政法人となりました。私達の国立長寿医療センターも独立行政法人国立長寿医療研究センターと名称を変えての再出発となりました。名称は変わっても、長寿を願い、高齢者の健康を増進し、病気に立ち向かう役割は同じです。超高齢社会において真の豊かさを医療面で実現するよう頑張っております。



# I 病院長から皆様へ



## こんな役割と責任があります

われわれは、患者さんの診療や健康のご相談にベストを尽くします。その上で国民全体から期待されているたくさんの「宿題」に答えなくてはなりません。例えば、高齢の方に多い病気の原因を詳しく調べたり、新しい治療方法を開発するための研究を行います。そして、このような成果を厚生労働省などの国の機関を通じて全国で利用できるようにするのが、最も重要な役割です。

## 研究への参加をお願いします

当センターでは皆様の診療として、診察、検査、治療を行ったときに、同じ病気でも高齢者ではどのような特徴があるか、患者さんごとにどのような点が異なるか、予防や治療のためにどんな注意をしたらよいか、このようなことを知るためのデータとして研究に使うことをお許しいただきたいと存じます。

皆様お一人お一人の参加が積み重なって得られる研究結果が、日本全国の現在そして未来の高齢者への健康と長寿の贈り物になります。

是非ご参加ください。





## こんな研究を行っています

**認知症：**原因を探る基礎研究、新しい治療方法の研究、お薬以外の治療法の研究、早期発見のための新しい検査方法の研究、生活習慣改善による予防の研究などがあります。

**骨粗しょう症：**原因を探る遺伝子研究、治療方法の比較研究、生活習慣改善による予防研究、骨折予防のための転倒予防研究などがあります。

その他にも次のような研究が進んでいます。

- じょく瘡
- 尿失禁
- 筋肉量減少症
- 口腔ケア
- 在宅医療
- 終末期医療

## 安全に研究を行います

研究に参加される方の安全を最も重視します。

検査における不都合や、特別な治療方法における不都合に関しては、事前に十分説明したうえで、これらの防止に全力をあげます。



## Ⅱ 患者さんの権利と 約束事です

患者さんが当センターで行った検査や治療の情報はご本人のために用いられるものであり、これらの情報について説明を受ける権利があります。

通常の診療で得られたデータを研究にも使うことをお許しいただきたいのですが、患者さんには個人情報の使用を許可したり、不許可とする権利があります。もちろん、当センターで十分な診療を受ける権利は変わることなく、個人情報の使用許可、不許可とは関係ありません。



## プライバシーを守り、 個人情報を保護します

当センターでは、個人情報保護法を遵守し、個人のプライバシーを守るため、研究に使わせていただく情報は誰のものか判らないようにします(これを匿名化といいます)。

また、個人情報保護のための管理体制を徹底し、そのための教育研修も定期的に行って、職員に周知徹底していきます。



# 個人情報とは何でしょう

お名前、年齢、性別、受診番号などで個人を特定できるものをいいます。

## < 個人情報の例 >

カルテ(診療録)

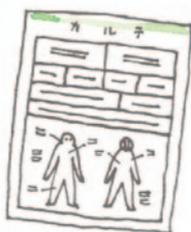
個人情報が入ったエックス線写真

個人情報が入った検査結果

個人情報が入った医療費明細書



エックス線  
写真



診療録



診察券



明細書



電子カルテ



保険証



## 個人情報はこちらのときに使います

### 1) 患者さんのために使うとき

- 診察・検査の時に名前をお呼びします。
- 病名などを決めるため、センター内で会議をします（カンファランスといいます）。
- 医療費の請求など医療事務に使用します。

### 2) 研究に使うとき

- 匿名化したうえで、診断や治療のためのエックス線写真や検査結果をスライドにして発表します。
- 多数の同じ病気の人情報を集計したり、分析したりして病気の特徴などを見つけます。



## 特別な検査についての 取り扱いです

通常の診療で行うもの以外の検査を研究の目的で行う場合は、前もって患者さんに書面で説明し、ご同意を得た上で行います。

このような検査には、質問票、測定器具を用いて患者さんから直接測定するものや、患者さんから採取した血液や尿、手術の際に摘除された組織を用いて測定するものなどがあります。

遺伝子に関する検査についても、研究計画について部外の有識者を含む倫理に関する委員会で厳正に審査され許可を得たものについて行います。この場合も、前もって患者さんに書面で説明し、ご同意を得た上で行います。

研究の目的で行われた検査の結果も個人情報として厳密に保護し、管理します。

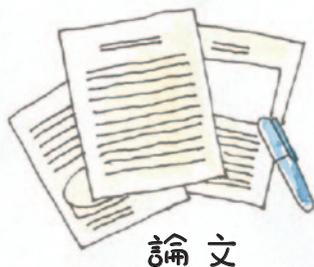
## Ⅳ 研究成果は公表され、活用されます

当センターで得られた研究成果は、学術的な論文や学会発表の形で公表されるだけでなく、全国の医療機関で活用されます。

私たちの活動内容や研究成果は下記のホームページでも公開されています。是非ご覧になってください。

<http://www.ncgg.go.jp/>

### 学会発表



---

発行者  独立行政法人国立長寿医療研究センター  
理事長 大島 伸一

〒474-8511  
愛知県大府市森岡町源吾35番地  
(0562)46-2311(代表)

ホームページ <http://www.ncgg.go.jp/>

---